

高崎山 メンバーズ クラブ会報

No.47

takasakiyama
MEMBER'S CLUB
kaihou 2007.7

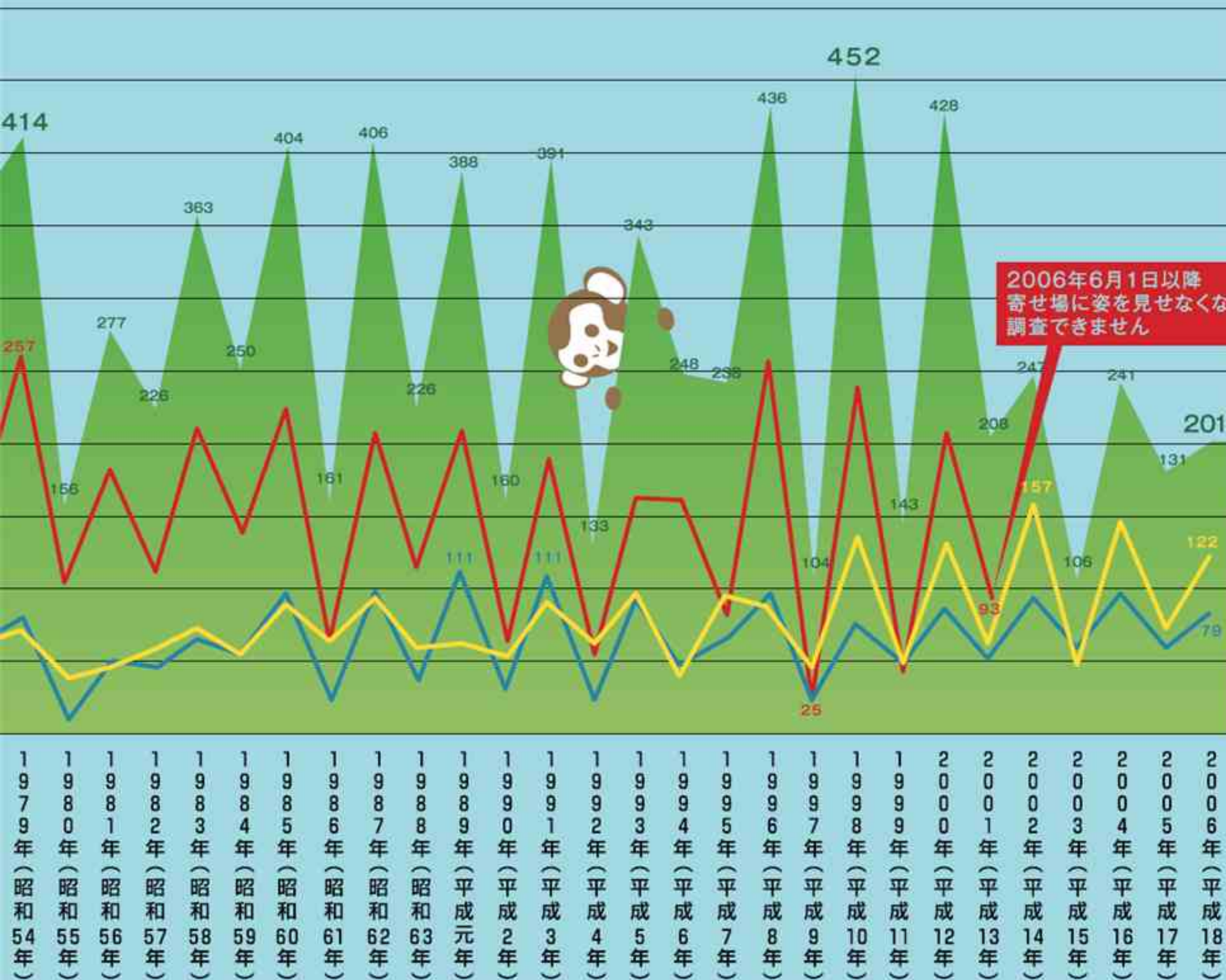


国立公園

高崎山
自然動物園

高崎山自然動物園では、現在出産シーズン（5月～8月）に突入し、連日のように赤ちゃんザルが誕生しています。

そこで、今回は開園した1953年からの年度別出産数について調べてみました。



2006年6月1日以降
寄せ場に姿を見せなくなり
調査できません

「カモメ」失踪

高崎山現役最長寿の「カモメ」30歳(人間の年齢で100歳ほど)が姿を見せなくなりました。

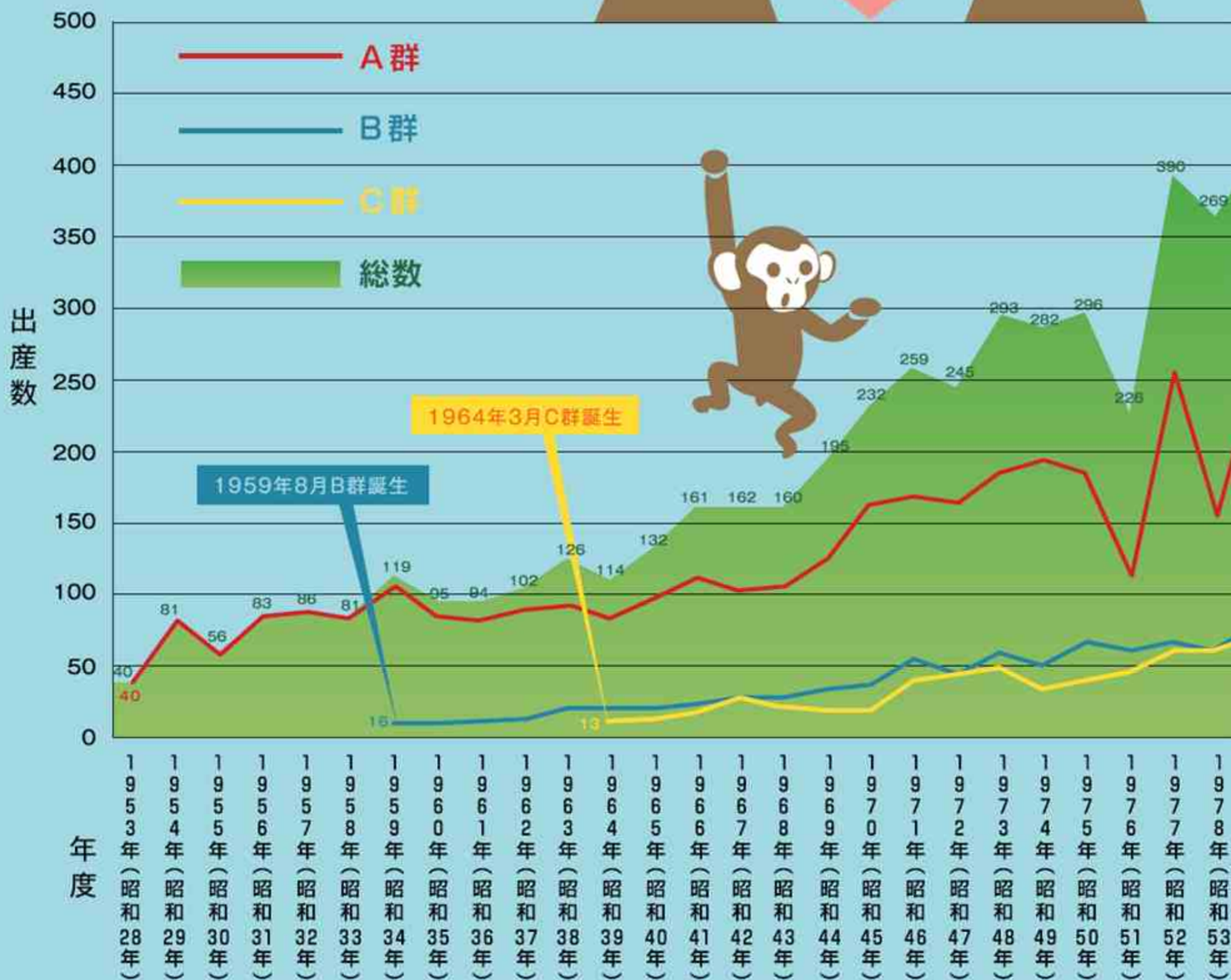
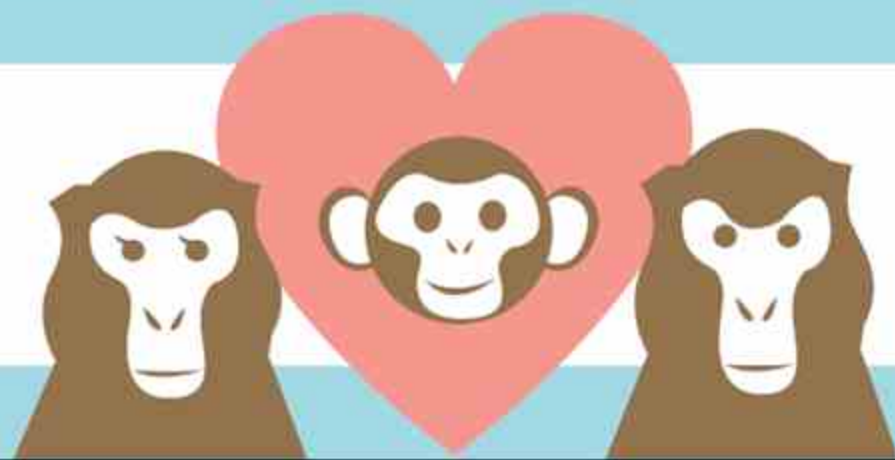
今年は暖冬でしたが、4月に入り季節はずれの寒い日(4月18日)がありました。おそらく急激な気温の変化に「カモメ」は体調を壊したのかもしれません。

さて、4月22日の朝、サル寄せ場にはサルの姿はありませんでした。ところが、1頭のサルが岩影にいることに私は気付きました。確認すると、何と「カモメ」ではないですか。体を震わせながらじっとしているのです。

今思えばその日が「カモメ」を目撃した最期となりました。(記者:サトチン)



出産数



元気がない「ベンツ」



最近C群第2位「ベンツ」の元気がありません。「ベンツ」は28歳(人間だとおよそ90歳前後)の高齢です。サルの寿命は(長く生きても)およそ25年ほどと言われています。

高崎山史上最年少にして1987年にB群のボスザル(現αオス)になった「ベンツ」は、C群のメスに恋をし、結果、B群の仲間から追われ、1990年にC群にやってきました。

その後、2000年頃から当時800頭近くいたA群が「ベンツ」の姿を見ただけでサル寄せ場から逃げていく状態となり、2002年には、A群がサル寄せ場へ姿をみせることはなくなりました。

猛将であり、高崎山の英雄とも呼べる「ベンツ」も寄る年波には勝てないのか、ここ最近ほとんど動かず、体調が悪そうに寝ているだけです。

C群で「ベンツ」が再びαオスになることを私たち係員は願っています。(記者:サル案内人S)

あのサルは今! 「ハヤト」

HAYATO
NOW

C群781頭の群れに「ハヤト」というちよつとした有名なオスサルがいます。

2002年5月27日生まれの「ハヤト」は、満5歳の誕生日を迎えました。

ちなみに「ハヤト」の弟「カラス」も5月22日に満3歳になり、昨年(2006年)5月23日に生まれた妹「マクワ」は1歳になりました。

最近「そりこみ三兄妹」といってテレビや新聞で報道されています。

今でも母親「ニガウリ」の手入れ(毛抜き)は続いているので、相変わらず目立つ存在です。

さて、上の写真①は、今から4年前の「ハヤト」です。当時の髪型は今とは違い、はっきりとしたそりこみはありませんでした。今は写真②のようにはっきりとしています。



A

2003年



B

2007年

高崎山の歴史



1953年(昭和28年)に開園した高崎山自然動物園。

当時はA群のみで、現在のようなB群やC群はまだ誕生していませんでした。ちなみにボス(αオス)の名前は「ジュピター」です。

写真は、1957年(昭和32年)当時のサル寄せ場の様子です。サル見物をしているお客さんにサルがエサをねだっているのでしょうか?サルたちの視線が気になります。そして、着物姿の女性が多く、今のファッションとは随分違いますね。



表紙

<今号の表紙>

大分市
木寺 明子様



写真募集

メンバーズ会報の表紙用の
写真を大募集しています。

写真とコメントを同封の上、
下記の宛先までご応募ください。(担当者:木本)

●大分市内の小学生は入園料が無料です。名札を見せて窓口にお申し出ください。●住所・電話番号に変更・訂正がございましたらご連絡下さい。

ご意見・ご要望をおまちしています



国立公園

高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1

Tel.097-532-5010 Fax.097-536-2500

<http://www17.ocn.ne.jp/~takasaki/>